

シラスウナギ採捕者漂流事故の再発防止活動



【出発式】



【シラスウナギ漁の様子】



【監視する巡視船さんれい】



【安全啓発の様子】

危ない！仁淀川河口でシラスウナギ採捕者の漂流事故多発！

漂流事故の事例

- 令和5年1月24日
シラスウナギを採捕していた1名が、移動中に川の流れにより沖へと流され、高知県に救助されました。
 - 令和5年2月9日
海中に入りシラスウナギを採捕していた2名が引き潮に流され、目撃者から連絡を受けた船舶に救助されました。
 - 令和5年2月22日
海中に入りシラスウナギを採捕していた5名が引き潮に流され、高知県に救助されました。
- ⇒ いずれも大潮等の干満の差が激しい日の大潮（高潮→干潮）時に発生しています。

注意事項

- 大潮の河口域は堤防等に流送が増加！
- 夜間は海面が暗く潮の状況が分かりにくい！
- 救命胴衣や携帯電話など安全装備を忘れずに！
- 気象、海象、潮汐をチェック！

118番へ早期通報

事故発生時は、海上保安庁への緊急通報ダイヤル118番へ早期に通報下さい。事故位置が特定され、早期発見につながります。

⇒ 通報時は、GPS機能を「ON」に！！

高知海上保安部

【安全啓発チラシ】

令和5年1月から2月にかけて、仁淀川河口にてシラスウナギ採捕者が沖へ流さ

れる事故が3件連続で発生したことから、関係機関（高知県水産振興部、高知南警

察署、土佐警察署）と協力して、令和5年3月8日に、シラスウナギ採捕者約80名に

対して安全啓発活動を実施しました。